

大番所（衛兵詰所）

大番所は、江戸城の戦略的に重要な門に設置された警備のための詰所でした。江戸城に残っている3つの中でも特

にこの大番所は中の門の内側近くに設けられており、江戸城本丸を訪れる人々の最終検問所として機能していまし

た。その重要な位置ゆえに、ここの守備についていたのは比較的高位の侍でした。19世紀後期、幕府時代終焉の後

にここは作業場に用途が変えられました。しかし1968年に東御苑が一般公開されると、元の外観へと復元されまし

た。

写真の説明

明治初期の中の門（1868～1912）。大番所は門の内側に設置されていました。

「鹿鳴館秘蔵写真帖」より（霞会館資料展示委員会）